

令和三年度 二学期始業式 八月一九日

はじめに、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、全校が集まって始業式ができないことを残念に思います。上田市内でも変異株が猛威を振るい、感染者が猛スピードで増えている状況です。更に気を引き締めて感染対策を徹底し、学校生活を続けていきたいと思います。

二年ぶりの長い夏休み、いかがでしたか。私は、前半は東京オリンピック観戦、後半は新型コロナウイルスの感染拡大や長雨による災害の心配にと一喜一憂の毎日でした。

そんな最中、大変うれしいニュースが飛び込んできました。本校の吹奏楽部が県大会において金賞を受賞し、東海大会への推薦をいただいたということです。吹奏楽部の皆さん、おめでとうございます。

さて、コロナ禍、様々な意見がある中での東京オリンピック開催でしたが、出場選手の姿からはたくさん感動と学ぶものがありました。運動が苦手というボクシング選手の金メダル、12歳、13歳と皆さんと同世代でメダルを獲得したスケートボー

ド、そして、私としての一番の驚きは、女子バスケットボールの銀メダルでした。小学生の頃からオリンピックに関心を持ち続けてきましたが、大変失礼ながらバスケットボールでメダルが取れるという思いは全くありませんでした。時代とともにスポーツの世界も大きく変化していることを実感しました。新種目の出現、選手の低年齢化等を含め、いつまでも過去のイメージに留まっていはいけないうことを改めて感じました。

トレーニング方法も同様でしょう。休養日もなく長時間ひたすら練習するかつての根性論から、科学的な根拠に基づき、選手自身が練習の目的や内容を考え、納得した上で行う効率的なものに変化してきています。私には、丁度本校の吹奏楽部に重なるものを感じています。国を挙げて、短時間で効率的、効果的な部活動にしていこうという方針のもと、本校の吹奏楽部も少し前に比べると、練習時間はかなり減少していると思います。しかし、今回の東海大会出場という快挙の裏には、短時間で効果を挙げる練習の工夫や部員の意識の高さがあつたものと思います。これからの部活動の在り方として、ぜひ他の部でも参考にしてもらいたいと思います。

変化とさえば、中学生期は、人生の中で最も変化、すなわち成長する時であると私は感じています。その成長を助けるのが仲間です。一番いけないのは、私がバスケットボールはメダルが取れないと考えていたような思い込みです。「○○さんはこういう人だ」という思い込み、あるいは決めつけは、仲間の成長を止めてしまいます。また、日々成長する時期ですので、お互いの考え方や関わり方も変化し、今まで通りにはいかないことも出てきます。時にはトラブルに発展することもあるかもしれません。しかし、それはお互いの成長を意味する場合も多々あります。迷う時には先生方に遠慮なく相談してください。

本日から二学期がはじまります。東京オリンピックに見られるように、中学生も新たな世界を創り出したり、国際社会で活躍したりする時代です。また、ボクシング選手のように苦手な分野でも視点を変えれば生かし方が出てきます。

先程各学年の代表者が二学期の決意を立派に語ってくれました。全校の皆さん一人一人も、二学期の決意を明確にし、創造的・発展的な取組で大いに自分らしさを発揮されることを期待します。